

ひめゆり学徒隊の戦争体験を描いた絵に見入る修学旅行生ら＝16日、糸満市伊原のひめゆり平和祈念資料館



糸満でひめゆり証言展



開幕式でテープカットをする島袋淑子館長(手前左)ら＝16日、糸満市伊原のひめゆり平和祈念資料館

友の最期絵で伝え

「ひめゆり平和祈念財団主催」

読んで広がる NIE

糸満市のひめゆり平和祈念資料館で16日、企画展「絵で見るひめゆりの証言」

催しが開幕した。ひめゆり学徒隊の生存者16人の戦争体験を伝える絵画16点と、下絵37点を展示している。来年3月31日まで。同資料館はこれまで、絵本や

島袋淑子館長は「絵を見ると助けることができなかつた友人たちを思い出してつらいが、若い世代に見てもらい、戦争のむごさを知ってもらいたい」と語った。

修学旅行生の加藤如乃さん(17)＝岩手県＝は「戦争体験を聞いたことはあるが、絵で見ると戦争の大変さがより感じられる」と話した。

アニメを制作し、言葉だけでは想像しにくい戦争体験を絵で分かりやすく伝えてきた。昨年11月から証言16人の個々の戦場体験を絵で記録する取り組みを開始。学芸員の詳細な聞き取りを基に、絵本やアニメの絵を担当した三田美介さんと海津研さんが計55枚の絵を手掛けた。